

鬼北熟成きじをPR

◎きじ鍋まつり



▶人気のきじ鍋を買い求める来場者

特産品の鬼北熟成きじをPRしようと、2月27日と28日の2日間、きじ鍋まつりが成川渓谷休養センターで開催され、大勢の来場者でにぎわいました。

初日はあいにくの雨となりましたが、歌謡ロックバンドの「セーリング」によるライブが行われ、会場を盛り上げました。

翌日は、格安で販売され、きじ鍋、きじ飯を目当てに多くの家族連れなどが訪れ、テント前に行列ができるほどの盛況ぶり。きじのうま味たっぷりのきじ鍋、きじ飯を堪能していました。

また、家庭できじ鍋を楽しんでもらおうときじ鍋セットも販売され、人気を集めていました。

県内外16チームが激突

◎鬼北町ソフトボール交流大会



▶力投する鬼北ジュニアクラブの氏原選手

選手の技術向上とクラブ間の交流を目的に、2月15日、鬼北総合公園グラウンドで交流ソフトボール大会が開催されました。大会には、町内のスポーツ少年団をはじめ高知県や松山市などから16チームが参加。選手は、保護者などからの声援を受けて、白熱した試合を展開しました。

近永小学校が創作ダンスで最優秀に

◎2008年度えひめ子どもスポーツーナスタジアム

愛媛県教育委員会が主催する「えひめ子どもスポーツーナスタジアム」の表彰式が2月21日、松山市の県武道館で行われました。この催しは、児童の運動に対する興味関心を高め、楽しみながら継続的な運動に取り組ませようと平成18年度に始められ、今年で3回目。児童が縄跳びやキャッチボールなど様々な運動に

挑戦し、記録を専用ホームページに登録、順位を競うものです。

本町からは、近永小学校5年1組が、創作ダンスを競う「レッツリズムダンス」で最優秀を受賞。縄跳びの連続回数を競う「チムジャンプ連続」で、日吉小学校の3・5・6年生が入賞を果たしました。



▶表彰式で模範演技を見せる近永小学校5年1組の児童

勇壮な舞披露

◎節安花とび踊り



▶観客の前で花とび踊りを奉納する会員

2月15日、父野川の薬師堂で節安花とび踊りが奉納されました。花とび踊りは戦国時代から続く伝統芸能で、災害により一時中断したものの、地元有志が中心となって昭和53年に復活。はち巻き、たすき、わらじばきの保存会会員が、安産や家内安全を祈願して、真剣を振りながら勇壮な舞を披露しました。